

建物被害に関する ご相談を受け付けています

今回の地震は、私たち建築士の力が自然に対していかに弱いかを思い知らされた経験でもありました。このような悲惨な出来事を繰り返したくない、そんな思いを込めて、耐震補強や修復に関するご相談を受け付けています。

外壁にひび割れが発生しているのですが、大丈夫でしょうか？

次の余震の影響で倒壊の危険性はないのでしょうか？

工事の見積りをお願いしようと思うけど、何か気を付けるべきことはないだろうか？

こんな不安を感じている方は、エイプラス・デザインにご相談ください。



* 茨城県内～水戸市内でも多くの家屋損壊がありました。

新 任 ご 換 拶

株式会社エイプラス・デザイン
取締役副社長 所 英雄



平成23年4月15日をもって一般財団法人茨城県住宅管理センターを退任いたし、4月16日より株式会社エイプラス・デザイン取締役副社長に就任いたしました。前職在任中、長年の課題でした財団法人茨城県住宅管理協会から分離、独立を果たすことができ、初代理事長の大役を任せられたことは、身に余るものであります。

また今年度、平成23年から5年間の指定管理者として県からの指定をいただくことができ、これもひとえに皆様方のご指導の賜物であると深くご感謝を申し上げます。

今後は、私を大好きにさせてくれた建物創りに戻ろうと思っております。今まで県管轄課、住宅課、建築指導課で培ってきた建築の知識を「作品創り」に傾注させることが残された人生を更に充実させ得る、最良の手段であると判断したからによります。

建物は、人々の良き友人であり、人々に愛され続けなければいけないと思います。愛される建物とは何か、を追求して「作品創り」に邁進していく所存であります。

これからも皆様のお力添えをいただきながら精進して参るつもりでおりますので、引き続きご指導の程宜しくお願い申し上げます。



震災により被災されました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。
**震災にも打ち勝つ
力強い復興・街づくりを。**

震災により被災されました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

— A+介護セミナー 開催しました!! —

<開催日時>2011年1月15日(土) <場所>エイプラス・デザイン本社 会議室 <参加者>7団体11名様

第1部 上手な公募の仕方をお伝えします!!

株式会社船井総合研究所の窪田先生を招いて、公募に勝つための色々なノウハウや採点基準など目からウロコの内容を、実例を交えながら説明していただきました。

第2部 エイプラス・デザイン式公募必勝法のすべて

こちらは弊社代表の佐藤が公募をすることは、その法人にとってどのようなことなのか、施設におけるハード(器)とソフト(サービス)の大切さなどを実例を交えながら説明いたしました。



窪田先生

セミナーの様子

ご来場された皆様が、メモを取りながら説明を真剣に聞いている姿に感激でした。なかには、弊社の竣工物件を見学されたいという非常に熱心なお客さまもいらっしゃいました。また、次回の介護セミナーも準備計画中ですので、当日お越しいただいたお客様、ご都合によりご参加出来なかったお客様、是非次回の介護セミナーにご参加下さい。

●参加者アンケートより抜粋:「介護福祉に対する考え方や住環境について大変勉強になりました。」「総合的に企画・設計してくれる会社があると知り、今後はお願いしたいと思いました。」



株式会社エイプラス・デザイン

0120-656-556

〒310-0021 茨城県水戸市南町1-3-23 カナザワビル3F
TEL.029-227-3361 FAX.029-302-2793
E-mail info@aplus-design.jp

http://www.aplus-design.jp/ エイプラスデザイン 検索



ごあいさつ

3月11日(金)に発生した東日本大震災は、私たちの日常から様々なものを奪い去り、深い傷跡を残しました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災を受けた方々に対し、心よりお見舞いを申し上げます。

水戸市近辺で被災した建物の調査依頼を受け、数多くの被災建物を見させていただきました。被害の大小はあるものの、その建物に住んでいる人や所有者が不安に思う気持ちは変わらないと感じました。比較的被害が小さな建物を見て、当面の損壊はないと告げると、オーナーには本当に安心した顔をしてもらえます。その反面、危険性がある建物のオーナーに調査結果を告げるときは、こちらも辛い気持ちになってしまいます。

まだまだ余震が続く中、不安な生活を送っている方も大勢いらっしゃると思います。そのような方のお役に立てるよう、私たちエイプラス・デザインでは耐震に関するご相談の受付を行っています。災害に強い建物とは、建物自体が崩壊しないことだけでなく、その中にある財産や人命を守ることです。不安を感じている方は、是非エイプラス・デザインにご相談ください。スタッフ一同、心を込めて対応させていただきます。

今月から、経験豊富な所副社長が新たに仲間に加わりました。ますますパワーアップしたエイプラス・デザインをこれからもよろしく願いいたします。

株式会社エイプラス・デザイン 専務取締役 池田 洋



茨城の人たちを励まし元気にするプロジェクト

APLUS DESIGN 7つの竣工実績。

最近の当社竣工物件の一例です。お客様のご要望や街の景観、土地の長所までも考慮に入れた様々な案件をご覧ください。

医療法人社団 八峰会 池田病院 担当 佐藤・友常



外壁の色合い、屋根の勾配や大きさ、個々のプロポーションなどを慎重に調整し、隣接する建物と一体的な環境を作りつつ、新しい病院としての主張も少しするように、外観を決定していきました。内部については、療養環境としてふさわしい、穏やかで爽やかな空間を目指し、中庭や、大きな窓のあるデイルームを各所に設け、なるべく開放的な構成としています。全体をほぼ2階建てにすることにより、2階にも大きな空中庭園を設けることが出来ました。また、手摺や引き手等については、デザインの一部として構成していくディテールとしました。

うなぎや東條

担当 池田

水戸市本町に本店を持つ、老舗の支店が4月8日(金)にオープンしました。老舗を意識させない、オープンで親しみやすい店づくりを心がけましたが、道路面に木塀を設えて落ち着いた雰囲気も出すことができたと思います。駐車場から玄関までは、この木塀の内側を通ります。ここは「街角の路地」のイメージです。



お客様の感想

こなばわ歯科医院
院長 小嶋 様ご夫妻
・小美玉市下馬場 ・歯科医業



医院新設にあたり、ハウスメーカーさんを見て回ったり、図面を提案してもらったりと、色々動いてはいましたが、細かい要望は受け入れられない、図面は決まったものがほとんど…。融通がきかないことに不満があったんです。そこで「設計事務所」に頼む事を思いつき、HPなどで探し始め、エイプラス・デザインさんと出会ったんです。まずは、手がけた歯科医院さんを見学してもらい、私たちの要望と新しい発見を織り交ぜながら設計を考えていきました。打ち合わせも数え切れない程。嫌な顔ひとつせずに足を運んでくださったことにとても感謝しています。

「こだわり」といえば院内の全て。例えば女性用トイレに設けたパウダールーム。お化粧直しをする患者さんも多いので、大好評なんです。また、当初待合室の窓の向かいに電柱が立っていたのですが、景観にこだわる佐藤社長のおかげで移動していただいて、これには本当に驚きました。

コスト面でも大変お世話になりました。歯科には歯科専用の作業台があるのですが、普通に頼むより安く、しかもセミオーダーで造っていただきました。そんな数々の要望は引渡し直前まで続き、細かい修正にもスピーディーに対応していただいて。申し訳ない気持ちもありましたが、満足のいく医院を作りたいという思いと、それに応えてくれるエイプラス・デザインさんのおかげで、こんなにも素晴らしい医院が完成しました。本当にありがとうございました！



めんや山翠

担当 佐藤

「めんや山翠」は水戸駅前の小さなお店です。売り場面積1.5坪と、当社が関わった中で最も小さなお店ですが、可愛らしさと美味しさで、たくさんの方に愛されるお店になりました。

大阪王将 日立大みか店 担当 佐藤

全国に店舗展開する、大阪王将の大みか店です。ハデハデな外観は、交通量の多い国道245号線でもひととき目立ってます！



国民健康保険 美和診療所 担当 池田

常陸大宮市の旧美和村地区に改築された診療所です。全国的に、地方の医師不足が深刻な問題となっていますが、旧美和村地区でもこの診療所が唯一の医療機関となっています。この新しい診療所が、地域に暮らす方々の健康を守る拠点となってくれる事を願っています。



SFC薬局 那珂店(茨城) 久喜店(埼玉)

担当 友常・遠西

弊社でコンサルタントをさせていただいています、セントフォローカンパニー様の店舗が茨城県那珂市と埼玉県久喜市に、4月初めに同時にオープンしました。リビングのような待合室と行き届いたサービスで、ご利用いただく皆様から好評をいただいています。



SFC薬局 那珂店



SFC薬局 久喜店

お客様の感想

(株)セントフォローカンパニー
代表取締役社長
富岡 聖司郎様
・水戸市中央 ・調剤薬局



だいぶ前になりますが、ある病院の改装計画の会議で、「設計の専門家」も加わるべきだということになり、来ていただいたのが佐藤社長でした。見積書を見てもらうと「2,000万円は削れますよ」との驚きの言葉が、行動力もある佐藤社長との印象的な出会いでした。

それからは当社でも仕事を依頼するようになりました。当事務所のリフォーム施工から関東40店舗に及ぶ薬局店舗設計をお任せしています。設計の中で重要視している部分は「設計のパッケージ化」。店舗の候補となる土地は様々で、はじめから設計していくとスムーズに進めなくなり、開店に間に合いません。そこで「20坪〜30坪〜40坪バック」というように「敷地面積」で区切りをつけ、設計パターンを統一する、といった考え方です。段取りも決めやすいですし、価格単価がはっきり分かっている。初めの設計を慎重に考えれば、あとはその土地にあったバックを選べばいいだけ。多店舗経営者の方はぜひ参考してみてください。また、当薬局の外観は左右対称のシンメトリーが基本となっています。信頼している佐藤社長の提案を採用し、現在に至っています。そういった工夫もあってか、薬局としての認知が上がってきているように思えます。ロゴマークも彼の知人にお願ひしたりして、実際に「店舗の顔」の部分も多く手掛けてもらっているので、その役割はとても重要なんです。毎週に渡る打ち合わせ、アフターフォロー、「現場主義」の行動力が成せる技でしょう。



SFC薬局 クリニック通り店